ほけんだより

特別号
Vol.2

令和８年８月
上河内中学校
保健室

宇都宮市の中学校では，宇都宮市教育委員会主催により，性教育サポート事業として，中学3年生を対象に「性教育講演会」を開催しています。この講演会は，宇都宮市で活躍されている産婦人科の医師によって行われ，本校でも７月 15 日（水）に実施しました。生徒たちにとって，産婦人科医のお話を直接聞くことができる貴重な機会となりました。

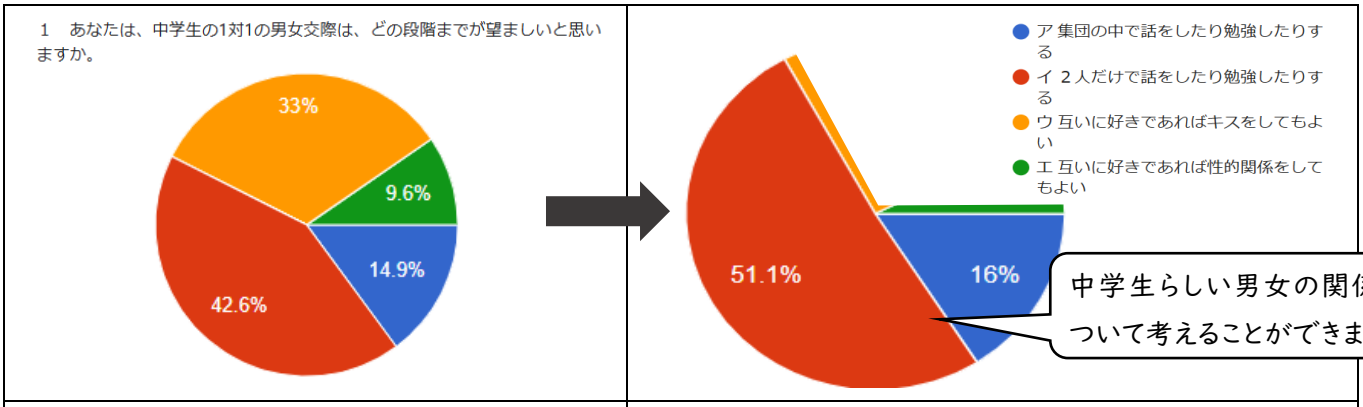
〈講師〉 平尾産婦人科 院長
平尾 健 先生

平尾先生は，すべての女性の健康と幸せを考えて，日々，患者の皆様と丁寧に向き合ってくださっています。

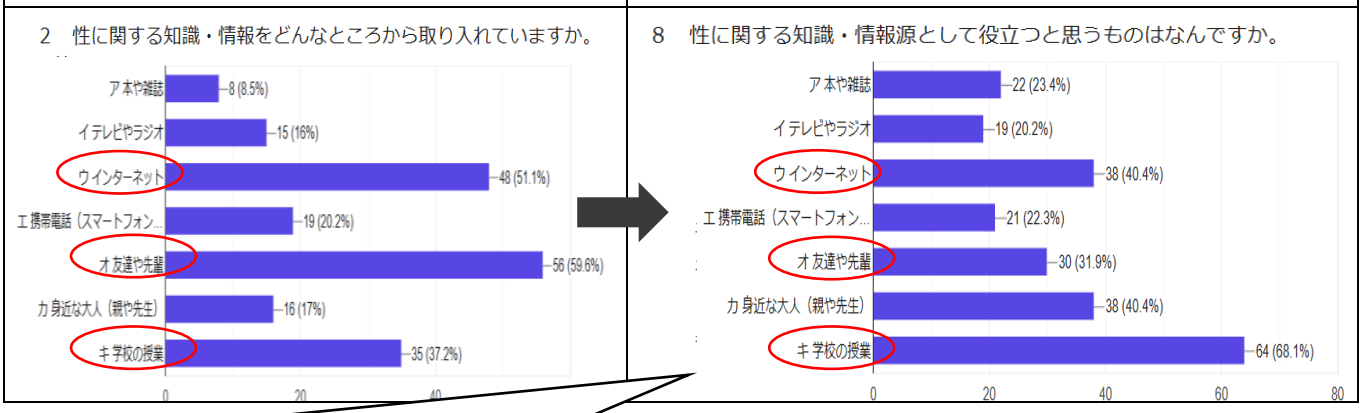


～アンケート結果から見える変化～

〈事前アンケート〉 〈事後アンケート〉

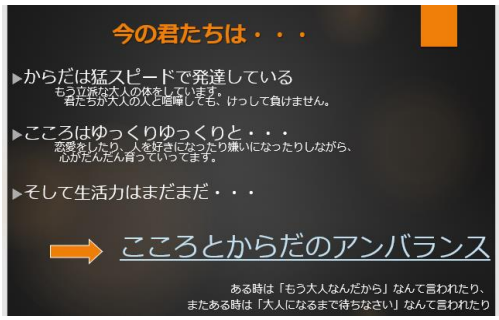


中学生らしい男女の関係性について考えることができました。



性に関する誤った情報は，これからの人生を大きく変えてしまう可能性があります。インターネットやSNS の情報，うわさ話だけを信じるのではなく，正確な情報を得るためにはどうするべきか，それぞれが考えることができました。

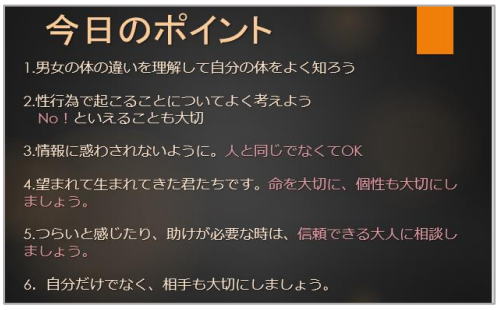
～「性教育講演会」での学び～



思春期を迎えた中学生は，ぐんぐん体が大きくなる一方で，こころの成長はゆっくりです。「こころとからだのアンバランス」に悩むこともあるけれど，人と同じでなくても大丈夫。そんな話を聞いて，生徒は自分なりのペースで成長していくことを改めて学びました。

将来の自分と相手の相互の健康を守るために,「性感染症」についても教えていただきました。近年増加傾向にある「梅毒」や「HIV」など，様々な感染症について知識を得ました。これらに感染しないために,今の自分はどうするべきか,「よく考えて・正しい選択をする」ことの重要性をお話いただきました。自分を守るための「NO」が言える勇気や，信頼できる大人に相談する勇気を持ってほしいと思います。





１時間の講演の中で，平尾先生より，「みんなの存在は愛の結晶。今は様々な事情があったとしても，みんなは望まれて生まれてきました。自分自身の命・人生を大切に過ごしてください」とお話をいただきました。今回の講演が，生徒たちにとって命の大切さに改めて気づき,他人を思いやる心の成長につながればと思います。

～講演会後の生徒の感想～

・男女の性や交際に関しては，お互いの尊重が大切で，そのうえで正しい知識を持っていくべきだと考えました。
・絶対にしてはいけないことと，してもいいことの区別がつけられるようにしたい。
・性に関して，楽しいことだけではなく，いろんな危険があることを知れて良かった。
・自分を守るために，正しい判断ができるようにしていきたいです。
・ネット情報に騙されず，自分の身を自分で守れる人になろうと思った。
・常に自分にとって正しいか考えて，行動・生活したいと思った。
・性についてあまり知らなかったので，詳しくお話を聞けてよかった。
・好きな人とは，一定の距離感が必要ということが分かった。
・知っていると思っていたことが，違う情報だと知れてよかった。
・性はお互いを理解することが大切だと思いました。
・性感染症はとても怖いなと思いました。　など







